

教室便り5月号

2024.4.23

※各種お申込み(受講曜日・受講時間・受講回数の変更、休会、退会等)の締め切りは 毎月10日で翌月より実施です。

Fax052-740-1300
TEL052-720-7900
mail:customer@synapse-math.com



☆お振替は右記QRコードをご確認ください。▶振替申込フォーム

教室名		シナプス開講予定表2024年													
月	曜日	月	火	水	木	金	土	月	曜日	月	火	水	木	金	土
四月		22	23	24	25	26	27			1	2	3	4	5	6
五月		4/29	4/30	1	2	③	④	七月		8	9	10	11	12	13
		⑥	7	8	9	10	11			⑮	16	17	18	19	20
		13	14	15	16	17	18			22	23	24	25	26	27
		20	21	22	23	24	25			27	30	31	7/22~8/31 夏期講習		
六月		5/27	5/28	5/29	5/30	5/31	1	八月		8/4(日)全国学カテスト					
		3	6/3~6/8休講				8			5	6	7	8	9	10
		10	11	12	13	14	15			⑫	13	14	15	16	17
		17	18	19	20	21	22			19	20	21	22	23	24
		24	25	26	27	28	29			8/24(土)算数・数学検定					

なぜ引き算は難しいのか？

まず引き算の前に足し算から学ぶのが通例です。そしてこの足し算の場合は、特に問題は起こりません。

なぜなら足される数・足す数のどちらも目の前に見えるものを合わせればよいからです。



しかし引き算の場合、上の絵のえんぴつの足し算を引き算に変えて考えてみてください。5本ある鉛筆から2本を取るのです。目の前に見える鉛筆で操作をするのは簡単です。5本の鉛筆から3本を取ってしまえばよいだけです。残っている鉛筆は3本とはっきり分かります。

それを立式したらどうなるでしょう。

$$5 - 2$$

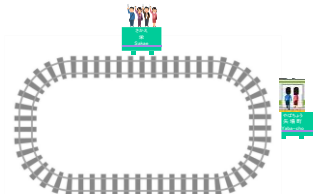
となりますね。式の中には5と2の数字がある為、子どもたちはどうしても5の量と2の量を思い浮かべます。

結果5と2を合わせた量が浮かんできます。

『引き算をして答えは7になるかな？』

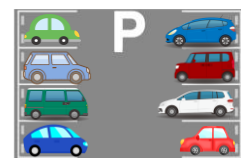
引き算を理解するために

様々な半具体物の教具を使って、引いたら数が少なくなる体験をしてもらうのが一番です。



乗客が降りたら残りの乗客の数は？
必ず数式を伴わせて考えさせます。

なくなる数が【-】の記号の後に来ることを常に体感させます。



駐車場から車が出ていったら、残った車の台数は？

玩具のミニカーを使って実際に操作をさせてください。